

資料：区民会議等議事録書式

| | | | | | |
|-------------------|---|---------------------------------|--------------------------|--------------------------|--|
| 第1回 南区区民会議 議事録 | | 第1回 区民会議 平成28年5月9日 SMC16-112-01 | | | |
| | | 承認 | 作成 | | |
| | | 記録作成者 | (氏名) 石川憲次 H28/5/16 | (氏名) 生越康治 H28/5/16 | |
| 議 題 | (1) 前回までのまとめ (2) 施策の検討(グループ協議) | | | | |
| 日 時 | 平成28年5月9日(月) 17時00分 ~ 19時00分 | | | | |
| 場 所 | サウスピア 多目的室 | | | | |
| 出席者 (敬称略) | 区民会議委員：秋山 光行 石川 憲次 牛山 時枝 大熊ミネ子 清宮 順子 小林 直太 坂井 陽介 新川 貞夫 新藤 賢一 田中 一正 手塚 健一 細瀬 久美子 松本 勲 宮崎 真理子 (委員出席14名 委員欠席6名) コミュニティ課：区長 副区長兼くらし応援室長 区民生活部部長 コミュニティ課長 コミュニティ課参与 企画係主任 企画係主事 支援者：都市づくりNPOさいたま 中津原努 生越康治(記) | | | | |
| 会議項目 | 1 開会 2 区長挨拶 3 職員紹介 4 議事 5 閉会 | | | | |
| 資 料 | 資料1 SMC16-111-01 施策検討シート 1班(追補資料) 資料2 SMC16-111-02 施策検討シート 1班 整理案 資料3 SMC16-111-03 施策検討シート 2班 | | | | |

今回の決定事項

- ・9つの施策アイデアを各班で検討し、計7つの施策アイデアとなった

| 要対応事項 | 担当者 | 締切日 |
|----------------------|--------------|-----|
| ・アンケート実施、内容についての案を作成 | 活動支援者 事務局 | |

議 事 内 容

(※以下、委員名は順不同でアルファベットで記載)

【第1回南区区民会議】

1 開会 (コミュニティ課 課長より)

- ※ 今年度就任の中村南区長より挨拶。
- ※ 人事異動に伴い区民会議担当の南区職員の紹介。
- ※ 本日の出席者(委員)が14名であり、南区区民会議第5条第3項に基づき、委員が過半数に達していることから、本日の会議が成立したことを報告。
- ※ 南区区民会議は公開が前提であるが、本日は傍聴人がいないことを報告。
- ※ 会議録作成のため、録音及び写真撮影を行うことへの了承を委員に求め、了承された。
- ※ 配布資料の確認
- ※ 南区区民会議設置要綱第8条に基づき、オブザーバーとして井上副区長の出席の了解を委員に求め、了承された。
- ※ 南区区民会議に支援者が同席することの了解を委員に求め、了承された。

2 議事 (南区区民会議設置要綱第5条第2項に基づき、石川会長により進行)

議 長：それでは、今回も引き続き施策の検討について協議に入りますが、その前に、前回までのまとめについて、活動支援者より説明をお願いいたします。

支援者：「地域交流の促進による安心して生き生きと暮らせるまちづくり」について、9つの重点施策をそれぞれ、各班で検討していただいております。配布の資料を御覧ください。1班は施策1から施策5までを担当していますが、今回は主に施策1「自治会未加入者への参加促進キャンペーン」についての協議でした。自治会加入者に向けて、分かりやすく興味を引くようなマンガでPRする、ホームページの開設助成などについて、事業アイデアが出されました。2班は施策6から9を担当していますが、主に施策6「シニアサポートセンターを核にした、高齢者の見守り」についての協議となりました。シニアサポートセンターをまずは知ってもらうために、学校などの教育機関やまちのクリニックといった医療機関にポスターを貼ってもらう、周知のツールをつくる、などの事業アイデアが出されました。両班とも、それ以外の施策については本日、検討をすすめていくこととなります。

議 長：ありがとうございました。では続いてグループ協議に入りたいと思います。

〈90分程度のグループ協議〉

議 長：では、各グループの競技結果につきまして、順に発表をお願い致します。

委員 A：本日は施策2から5について検討をすすめました。まずは施策2「ファミリー対象イベント みなみフレンドパークの開催」についてです。担い手は区内団体ということになりますが、年間を通して地域の魅力などを知ってもらうような取り組みです。世代間交流もこの取り組みの重要な目的です。例えば東部の休耕田などを利用して畑をつくる、空家を利用してけん玉や囲碁将棋などができるようにして、西部の方がそこに行くなどです。また、「地上絵コンクール」という具体的なアイデアも出されています。

施策3「高齢者の知識・経験を活かした、区民セミナーの開催」ですが、担い手はやはりリタイヤした知識豊富な方々です。すでにありますが「シニアバンク」的な位置づけにできればいいなと思います。公共施設でのセミナーを開催するとともに、要望があればその方々が区内のイベント等に出張していく形も考えられます。例えば、知識や経験のある方々の参加した「南区知恵袋」といったような組織をつくって、区民セミナーを積極的に開いていくような取り組みにできたらいいのではないかと思います。

続いて施策 4「南区地域活動掲示板をつくる」です。貼るだけの掲示板だけではなく、イメージとしては南区のマップをつくって、そこに各エリアのイベントを吹き出しのような形式で書いていくような紙資料です。それを地域住民や駅などに配布します。掲載する情報の収集や精査などをどうするかといったことや、担い手は NPO のような団体をつくる必要があるなど、最終的にはハードルは高いかなと思います。しかし、その先に地域の魅力発信など住んでいる人たちに知ってもらえることができればよいと思います。これは壮大な意見ですが、2020 年のオリンピックをからめた話も出ていました、それは難しいでしょうか。そして施策 5「地域間交流イベントの開催」ですが、今までのご説明でも出ていたとおり、交流やイベントの施策アイディアが出ております。これからはどこかの施策と一緒に検討していくこととなるかと思えます。ですから 1 班では施策 1 から 4 を検討していくこととなります。

委員 B： まず施策 7「子育て支援策の充実」についてです。担い手は保健センター、学校などの教育機関、そして取りまとめはやはり行政機関になるかと思えます。対象は乳幼児とその親、小中学生とその親です。子育てサークルやママ友サークルなど、同じ環境の方たちが集まり話をするのが重要となっておりますが、専門家へ相談したいことがあっても、なかなか難しくもあります。それぞれ乳幼児や小中学生で相談内容も異なり、例えばおこづかいのあげ方やなど、まわりはどうしているか、客観的に知りたいという相談もあるかと思えます。そこで行政主導で、世代別やテーマ別の公開セミナーを開催し、参加した方が専門家の先生を知ることができ、その後、サークルでも情報交換をすることができます。行程としては、まずはどのようなサークルがあるのか把握することができれば、セミナーなどの情報提供をすることができます。

続いて施策 8「公共施設を活用したイベントの開催」です。前回の話し合いで、地域包括支援センターはイベントを実施する場所ではないということでしたので、副題からは削除となります。担い手はそれぞれの施設の運営者。まず来てもらうことが必要ですが、対象は近くに住んでいる方などです。具体的な事業アイディアとしては「世代間交流の場」とすることや、先ほどあげたような公開セミナーを実施するなどです。施策 7 で検討していることを実施できればいいのではないかという意見が出ました。ただし、例えば築 30 年、40 年の公民館などはバリアフリーとはなっていないと、高齢の方など来て欲しい方が来づらくなってしまっているという話がでました。優先順位は低くなるかもしれませんが、バリアフリーやユニバーサルデザインなどに配慮した施設にしていくことも必要になるかと思えます。施策 9「地域での居場所づくり」ですが、施策 8 の内容がそのまま「地域での居場所づくり」につながるのではないかとということで、自治会館などにこだわることなく、一緒に話をすすめていきたい、となりました。

議長： ありがとうございます。検討した結果、両班で計 7 つの施策に絞り込むことができました。本日の協議内容を事務局、活動支援者にまとめてもらい、次回は検討していくこととなります。また、私たち区民会議委員で意見をお聞いているだけではなく、区民の方の意向や意見をお聞きした方が、内容に厚みも出てきます。次回は、例えばアンケートのたたき台を事務局・支援者に用意をしてもらい、内容や手法を検討することができればと考えておりますので、どうぞご協力をお願いいたします。それでは、進行を司会にお返しいたします。

3 その他

事務局： 次回の日程については 6 月 24 日（月）17 時からとなります。次回もどうぞよろしくお願い致します。

4 閉会

——会議項目の全てを終了——

